

**第487回 3月23日開催
出席委員（50音順・敬称略）**

大村 英昭 木下 明美
倉光 弘己 黒田 勇
櫻井 美幸 森 輝彦
荒巻 裕（書面参加）
深井 麗雄（書面参加）

テレビ番組

「おやじの花」

3月13日（土）午後1時54分～3時24分放送

***櫻井委員**

世間一般が抱いている「おやじ像」とは違う姿を見せてくれたので、意外性があった。一方で、話のテーマが総花的で中途半端に終わった感じがした。おやじさんたちに話の花を咲かせてあげようという狙いは成功したのだろうか。

***木下委員**

団塊の世代のおやじさんたちが、やや暗い照明の中でボソボソ語ってくれたことが、かえって温かく感じられ好感を持った。今後、おやじさんだけではなく団塊の世代の男女が好きなことを思いきり語り合う番組も考えてほしい。

***黒田委員**

スタジオのおやじさん一人一人に、それぞれの物語があった。大阪のおやじを、関西というある種の色付けをせずに見事に表現していたので、非常に面白かった。色付けがされていないという意味で、大阪のおやじは新しい資源になると思う。

***倉光委員**

おじさん族というのは、料理の仕方で三ツ星レストランの味になるものである。時々テレビに引っ張り出して、日常的な場面で若いお嬢さんや同年輩の女性にぶつけてみたら何が出てくるか、いろいろ実験してみるのも結構面白いと思う。

***大村副委員長**

いわゆるステレオタイプの切り口の番組かと思ったら、良い意味で裏切られて面白かった。スタジオのトーク部分は生き生きしていたが、取材部分のざこばさんの話題や離れて生活する父娘の話は意外性がなくリアリティーに乏しかった。

*** 森委員長**

おやじに対する世間一般のイメージはいろいろあるが、実際はまったく違う面もたくさんある。メディアが扱う題材としては、「おやじ」はあまり触れられていない対象なので、今回の番組がひとつの方向性を示したと言えるのではないかと。

*** 荒巻委員（書面）**

いい年をしたおやじさんが50人も出揃う番組はかなりユニークで、「ちちんぷいぷい」路線からこういった番組が生まれたことを評価したい。ただ平凡で地味な50人だけでは、やはりドラマチックな展開を望むのは無理かもしれない。

*** 深井委員（書面）**

スタジオのおやじさんたちが、何か「同士愛」といったもので盛り上がっていたので、見ている奥さんたちはシラケたのではないかと。「おやじ族」を徹底的に批判するような出演者がいれば、シラケや居心地の悪さは多少解消できたと思う。

テレビ・ラジオの4月編成について

テレビ・ラジオの4月新編成の概要・特徴について、編成局長とラジオ局長がそれぞれ報告した。

委員の再任、副委員長交代について

毎日放送番組審議会では、平成15年度委員の8人全員が再任された。なお新副委員長に、木下明美委員が選任された。

民放連の放送基準の改正について

日本民間放送連盟の「放送基準」が4月1日から改正されたことを広報室長が報告した。

今回の見直しでは、放送に対する公的規制の動きや視聴者の厳しい批判の高まりを踏まえ、自主自律の姿勢を一層強固なものとするのを年頭に、新設8か条を含む合わせて32か条が改正されています。改正点のポイントは次の通りです。

1. 報道目的の明確化など

報道（ニュース）の第一義的な目的が「市民の知る権利の奉仕」にあることを明確にするとともに、プライバシーへの配慮を規定する。

2. 健康情報・ショッピング番組に関する規定の整備

健康志向の高まりに伴う関連番組の増加を踏まえ、その取り扱いの適正化を図るため留意すべき事項を定めるとともに、テレビショッピング・ラジオショッピングに関する規定を新設する。

3．児童・青少年に配慮した規定の整備等

児童・青少年の視聴に一層配慮する取り組みの一環として、性表現の適正化を図ると共に、性感染症や生理衛生に関する事柄は医学上、衛生学上の正しい知識に基づいて取り扱うことなどを規定する。また、性的少数者に対する人権上の配慮を明確にする。

4．消費者金融CMなどに関する条文の新設

個人情報保護法の成立、消費者金融CMおよび治験の被験者募集のCMに関する放送基準審議会の見解を踏まえ、新たな条文を設ける。また併せて、投機性のある金融商品・サービス広告の取り扱いには慎重な判断を要する旨を規定する。

5．その他字句・用語の修正